

いせさき

繭玉でウサギの置き物 を作りました



主な内容

- 新年のあいさつ P2
- いせさき初市を開催します P3
- いせ咲く。i ミーティング P4
- まちなか宣言を策定しました P7

表紙写真：まゆで干支作り

12月11日、まゆドームで「まゆで干支作り」教室が行われました。子どもたちは繭玉を使いこしの干支(卯)の置き物を作成。部品を切り貼りしてウサギを完成させると、お互いの作品を見せ合いながらうれしそうな表情を見せていました。

謹賀新年

市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、物価の高騰、急激な円安、原油価格の上昇などが市民の皆さまの生活や事業者の活動に深刻な影響を及ぼした一年でありました。

本市におきましては、こうした状況に対し、市民生活の支援や地域経済の回復に取り組んでまいりました。さらに、感染防止対策を講じ、いせさきまつりなどさまざまな行事を3年ぶりに行うことで、まさに活気が戻ってきたと感じています。

本年も引き続き、国や県と連携して感染拡大の防止を図るとともに、社会生活と経済活動の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。また、民間活力の活用により、限りある財源を効率的かつ効果的に配分し、市民協働のまちづくりを進めてまいります。今後も、あらゆる世代、全ての地域、多様な立場の皆さまと共に、

誰一人取り残されることのない、未来に咲き誇る、持続可能な地方都市伊勢崎を創生してまいります。

結びに、市政への一層のご理解とお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりましてさらなる飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和五年 元旦



伊勢崎市長

伊勢崎市長 泰雄



いせさき 初市

期日 1月11日(水)


時間 正午～午後8時30分

会場 本町通りほか

※周辺の交通規制を行います



最新の情報は市ホームページで確認
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、中止する場合があります。市ホームページで最新情報を確認してください



新春恒例の「いせさき初市」を開催します。福入りだるまを売る多くの露店が本町通りに立ち並ぶほか、商店会連合会による「初市協賛大売り出し」も行われます。ことしの福を求めに、ぜひお越しください。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新春演奏、猿まわしのイベントは実施しません
問い合わせ 文化観光課(☎272759)または伊勢崎商工会議所(☎242211)

感染症対策を実施します

- 会場入場口に消毒液を設置します
- 出店の販売者は、事前に検温をするほか、マスク着用など飛沫防止対策を行います
- 会場へのシャトルバスは日本バス協会のガイドラインに基づいた感染症対策を行います

来場する皆さんへのお願い

- マスクの着用をお願いします
- 発熱などの症状がある場合や、体調が悪い場合は来場を控えてください
- 買い物はできる限り少人数、短時間で済ませてください
- 出店に並ぶ際など、会場内での来場者同士の間隔の確保に協力してください
- 会場内や周辺での歩きながらの飲食は控えてください



▶本町通りにたくさんのお福入りだるまが並びます



いせ咲く。iミーティング

—多文化共生について話し合いました—



令和4年10月25日に「多文化共生のまちづくり」をテーマに「いせ咲く。iミーティング」を開催しました。市内で多文化共生に取り組む6人の皆さんを招き意見を聴きました。皆さんが、それぞれの立場から課題などを紹介し方策を提案。市は、皆さんからの意見や提案などを参考に、多文化共生社会の実現に向けたまちづくりに取り組みます。
問い合わせ iミーティングに関すること=広報課(☎27-2711)
 多文化共生に関すること=国際課(☎27-2731)

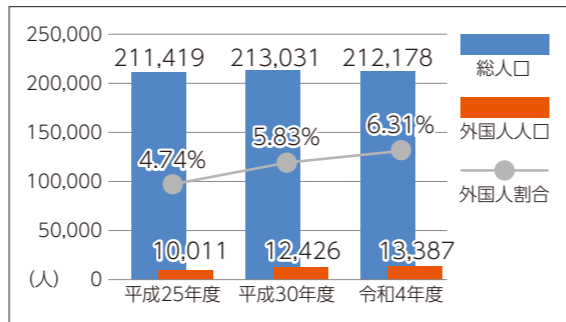
いせ咲く。iミーティング
 市長が市内で活動する皆さんと、市政の課題などを話し合う懇談会です。市ホームページで動画を公開しています。



▶市ホームページ

本市の現状と多文化共生のための取り組み

本市の外国人人口の割合は年々増加しており、令和4年4月1日現在で総人口の6.31%となっています。市は多文化共生の取り組みとして、外国人向けに生活オリエンテーションなどを実施するほか、多文化共生の推進において中心的役割を果たす市民を市多文化共生キーパーソンと認定しています。引き続き、市民と一体となり多文化共生のまちづくりを推進していきます。



◀本市の外国人人口の推移

皆さんが挙げた課題と提案

NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会
 理事長 **石川 孝明 さん**

意見 日本語教室では外国人とコミュニケーションを図ることに重点を置き、多文化共生に取り組んでいます。日本語教室に通う外国人は異なる文化や習慣に戸惑いながらも、日常生活の中で日本人との交流を深めたいと考えています。



日本語学習を通じて多様な文化と触れ合う場を設けていますが、地域社会においても、地区の行事などを通じて日本人と外国人が交流する機会を設けることが必要だと思います。

提案
 ●地区の行事への外国人の参加を促すため、多言語対応のチラシや案内を作成する

日本ピュアフード株式会社 伊勢崎プラント
 プラント長 **幡谷 樹 さん**

意見 外国人が働く職場を管理する立場としては、従業員が国籍に関係なく、共通の理解や目標を持ち働ける職場づくりを目指しています。また、外国人従業員が地域社会と関わりを持つために、外国人技能実習生の監理団体と連携し生活指導を行うことも会社の役目だと思っています。市の多言語対応ガイドブックなどを活用し、生活ルールなどの教育をしていますが、紙媒体だけでは伝わらない現状があります。



提案
 ●生活ルールやマナーなどを指導する教材を動画で作成し企業へ提供する

羽黒町区 区長 **江原 満穂 さん**

意見 羽黒町区は住民の約15%を外国人が占めています。区長の立場としては、外国人にごみに関するマナーを理解してもらうことが課題だと感じています。先日開催したごみ出しルールの講習や秋のクリーン作戦行事には、日本語を話せる外国人の子どもたちが家族を連れて参加してくれました。外国人がマナーを理解し地域社会との交流を図るためには、外国人の子どもたちが重要な役割を担ってくれると考えます。



提案
 ●外国人が家族で参加できる行事や催しを開催し交流の機会を増やす

市多文化共生キーパーソン **朝倉 平 さん**

意見 国際交流のイベントに参加するため、大人数で歌や踊りの練習をしたい時に練習する場所を見つけられず困ったことがあります。外国人が文化活動を行うための場があると良いと思います。また、外国人は生活習慣の違いから近隣住民とトラブルになることがあります。市と協力して外国人向けにマナーなどの情報を発信していますが、理解してもらうためには顔を合わせて話し合うことが大切だと思います。



提案
 ●外国人が文化活動を行うための場をつくる
 ●マナーなどを再確認する機会を設ける

市多文化共生キーパーソン **本堂 晴生 さん**

意見 外国人住民の増加が見込まれる中、文化の違いから地域社会でトラブルが増えることが懸念されます。解決策として、日本の社会をよく知っていて日本語が話せる外国人のキーパーソンを養成することが有効だと思います。外国人が外国人のサポートをすることで、同じ目線で生活マナーなどを教えることができます。そこからネットワークが構築されることで、外国人住民とより良い関係が築けると思います。



提案
 ●外国人の市多文化共生キーパーソンを積極的に養成し、ネットワークを構築する

市多文化共生キーパーソン **相沢 正雄 さん**

意見 多文化共生には、行政と民間企業の協力が不可欠です。外国人は働く場において、言語の違いから役職を与えられず収入が向上しないという問題があります。この問題を解決するためには、企業側の努力も必要ですが、雇用維持や正規雇用に対する行政からの支援も必要だと思います。行政が外国人を雇用する企業に対して継続的に支援を行うことで、外国人を雇用する利点を明確にする必要があると考えます。



提案
 ●外国人を雇用する企業への支援を充実させ、外国人が雇用されやすい仕組みをつくる

まちなかの活性化につなげるために まちなか宣言を策定しました

伊勢崎市とさまざまな団体が組織するまちなか活性化支援会議では、まちなかの活性化をテーマにしたシンポジウムなどでの意見交換と、これからのまちなかに関するアンケートで寄せられた回答を基に「まちなか宣言」を策定しました。この宣言は、まちなかの活用における約束事として、まちなかに関わる全ての人に共有してもらいたい将来像です。皆さんも今後の伊勢崎のまちなかのことを一緒に考えていきませんか。

問い合わせ 商工労働課(☎27-2754)

まちなか活性化支援会議とは・・・

中心市街地の経済活力向上による地域課題の解決を支援するために立ち上げられた官民連携の組織です。会員の専門性を生かし、まちなかの活性化に向けたさまざまな取り組みを実施しています。にぎわい創出に取り組む団体などへの支援を通じて、まちなかの新たな価値の創出を目指します。



▲まちなか活性化支援会議の詳細はこちら

●構成団体=伊勢崎商工会議所、群馬伊勢崎商工会、アイオー信用金庫、まきばプロジェクト、群馬県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会群馬県本部伊勢崎担当、伊勢崎市

8つのまちなか宣言を紹介

▶紹介動画はこちら



- ① まちなかを全力で楽しむイベントを、みんなで楽しみながらつくります
- ② まちなかの空き家や空き地を、工夫とアイデアで生まれ変わらせます
- ③ いつでも誰でも、安心して安全に歩けるまちなかを、みんなでつくります
- ④ まちなかの緑をみんなで育てて、交流の場として大切に活用します
- ⑤ 歩きや自転車の移動が楽しい、人が中心のまちなかを一緒につくります
- ⑥ 歴史的な建物やお祭りなどに積極的に触れて、まちの伝統や文化を守ります
- ⑦ アートや音楽を伝えたい人と楽しむ人が融合する、素敵な空間にします
- ⑧ 新たな挑戦に取り組む若者たちを応援し、参加しやすいまちなかにします



▲8つの宣言それぞれの内容をイメージしたイラストを作成しました。左のイラストは①のイメージイラストです

まちなか宣言の巡回展示を行います

「まちなか宣言」をより多くの人に広く周知するため、まちなかの公共施設などで巡回展示を行います。宣言のイメージイラストが描かれたバッジの配布も行います。

会場・期間

- 市役所東館市民ホール= 1月4日(水)から12日(木)まで
- 伊勢崎市図書館= 1月13日(金)から30日(月)まで
- 北公民館= 1月31日(火)から2月10日(金)まで
- アイオー信用金庫大手町出張所(大手町)= 2月13日(月)から24日(金)まで
- 南公民館= 2月27日(月)から3月10日(金)まで

民間複業人材登用による実証実験 広報・PRアドバイザーと情報発信強化

市は、情報発信の課題解決を目的に、高い能力と専門性を持った民間複業人材を令和4年5月から10月末日まで「広報・PRアドバイザー」として登用する実証実験を行いました。登用したのはA.Yさん(氏名非公表)と林雅之さんの2人です。今回は、約半年間にわたりアドバイザーに助言をもらいながら情報発信の強化に取り組んだ内容と、今後新たな展開を予定している取り組みについて紹介します。

問い合わせ 広報課(☎27-2711)

01 広報いせさき特集記事の魅力向上

課題 前例踏襲の掲載記事が多い

これまでの特集記事の多くは、一つのテーマをカラーの2ページで掲載していましたが、令和4年10月1日号では「花」をキーワードに、**四つのテーマを一つの特集として、4ページで掲載**しました。本来、関連性のないテーマを一つのキーワードで結びつけ、同じ特集として掲載することで、特集記事の魅力向上を図りました。今後も皆さんが読みたくなる特集記事の作成に取り組めます。



▲本紙令和4年10月1日号

02 市内大学の学生と協働で広報いせさき特集記事を作成

課題 若い世代に広報紙が読まれていない

学生の目線で伊勢崎や大学の魅力を紹介することで、若い世代に広報紙を読んでもらい、市政への関心を高めようことを目的に、令和4年12月1日号に、市内にキャンパスがある**上武大学と東京福祉大学の学生と協働で作成した特集記事を掲載**しました。今後も引き続き市内の学生などに参画してもらい、幅広い世代に読んでもらえる広報紙の作成に取り組めます。



▲令和4年12月1日の定例記者会見には両大学の学生も参加し記事の内容を説明しました

これからの取り組み

広報いせさき 表紙リニューアル

皆さんが親しみを持てる広報紙を目指して、4月1日号から広報いせさきの表紙リニューアルを予定しています。表紙のロゴデザインには、昨年実施した募集で寄せられた作品の中から、選ばれたものを採用します。**1月16日(月)から一般投票**を行います。**投票の方法などは次号でお知らせ**しますので、ぜひ投票してください。

定期的なアンケートの実施・広報戦略作成

昨年度、市の情報発信についてのアンケートや広報紙の満足度を計るアンケートを行いました。アンケートの結果を基に、市民の皆さんにより伝わる情報発信を行うための指針となる**「広報戦略」**を作成します。今後も**定期的に市の情報発信などに関するアンケートを実施**しますので、ぜひ皆さんの貴重な意見を聴かせてください。

今後もより良い情報発信ができるよう取り組んでいきます！



企画展「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」 赤堀茶臼山古墳の世界に迫る



鶏形埴輪を観察



さまざまな埴輪が並びました

令和4年10月14日から12月25日まで、赤堀歴史民俗資料館で「企画展「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」」が開催されました。会場には、復元された埴輪の中では東日本最古のものとなる鶏形埴輪や、複製の家形埴輪群などが展示。来場者は、迫力のある鶏形埴輪や会場に並んださまざまな埴輪の観察などを通し、東国屈指の赤堀茶臼山古墳の世界に迫りました。

令和4年10月14日から12月25日まで、赤堀歴史民俗資料館で「企画展「赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－」」が開催されました。会場には、復元された埴輪の中では東日本最古のものとなる鶏形埴輪や、複製の家形埴輪群などが展示。来場者は、迫力のある鶏形埴輪や会場に並んださまざまな埴輪の観察などを通し、東国屈指の赤堀茶臼山古墳の世界に迫りました。

冬の賑わい まちなかイルミネーション

色鮮やかなイルミネーションで彩られた伊勢崎駅周辺



10メートルタワーや伊勢崎工業高校の生徒が制作したイルミネーション



色鮮やかなイルミネーションを楽しみました

令和4年12月1日から、伊勢崎駅南口・北口駅前広場と大手町パティオで「冬の賑わい まちなかイルミネーション」が行われています。12月2日には色鮮やかなイルミネーションを見ようと、多くの人々が来場。来場者は、イルミネーションを眺めたり撮影したりして楽しんでいました。「冬の賑わい まちなかイルミネーション」は、1月11日(水)まで行っています。

まゆで干支作り

繭玉を使ってことしの干支(卯)の置き物を制作



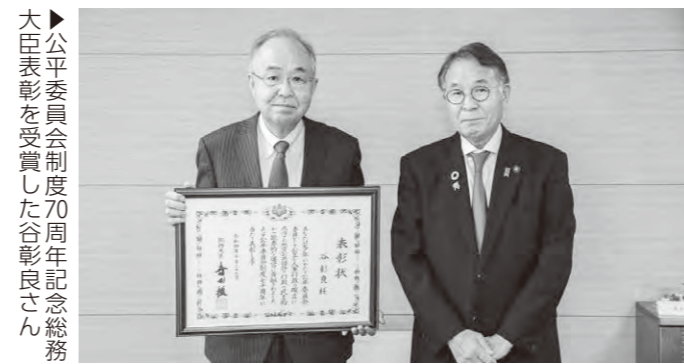
みんなで楽しくまゆ工作!



親子で部品の切り貼り!

令和4年12月11日、まゆドームで「まゆで干支作り」教室が行われました。参加した子どもたちは、繭玉を使ってことしの干支(卯)の置き物を制作。子どもたちは部品を切り貼りしてウサギの置き物を完成させると、「かわいいウサギができた!」と言ってお互いの作品を見せ合っていました。

公平委員会制度70周年記念総務大臣表彰受賞を報告



公平委員会制度70周年記念総務大臣表彰を受賞した谷彰良さん

本市の公平委員である谷彰良さんが総務大臣表彰を受賞し、表彰訪問を行いました。谷さんは平成24年から公平委員を務めています。長年にわたり公平委員を務め、功績が特に顕著であることが評価され表彰されました。

インターネット公売を実施

対象物件

所在地	地目・種類	登記上の面積	
山王町	宅地	487.00㎡	
	雑種地	62.00㎡	
	居宅	1階	59.60㎡
2階		23.18㎡	
堀下町	宅地	502.98㎡	
	居宅	1階	101.87㎡
2階		37.26㎡	
北千木町	宅地	231.43㎡	
日乃出町	宅地	259.32㎡	
	居宅	76.80㎡	

市税などを滞納している人から差し押さえた不動産4件を「KSI官公庁オークション」で公売します。対象物件は左表のとおりです。参加申し込みや入札は「KSI官公庁オークション」のホームページ(https://kankochi.jp/)から受け付けます。公売は中止する場合があります。事前に市ホームページを確認してください。参加申込期間 1月12日(木)午後1時から31日(火)午後11時まで



市ホームページ



「KSI官公庁オークション」ホームページ

入札期間 2月6日(月)午後1時から13日(月)午後1時まで
問い合わせ 収納課(☎27)8804

不妊・不育治療費を助成します

不妊・不育治療を受けている夫婦に対して、1年度につき1回、通算3回まで治療費の一部を助成しています。助成を希望する人は、申請期限内に健康づくり課または各保健センターに申請してください。申請期限の間は窓口が大変混雑します。早めに申請してください。

問い合わせ 健康管理センター(☎23)6675)

申請期限 3月31日(金)

※期限までに申請できない人は健康管理センターに問い合わせてください

対象 本年度、不妊・不育治療を受けた夫婦で、申請日時点で次の全てに該当する人

- 本市に引き続き1年以上住所がある
- 法律上の婚姻関係にある夫婦
- 医療保険に加入している
- 本市の市税に滞納がない
- ほかの地方公共団体(群馬県を除く)から同種の補助を受けていない

助成額 かつた医療費の自己負担額の2分の1
※不妊治療は10万円まで、不育治療は20万円まで、いずれも千円未満は切り捨て
用意する物 必要書類などの詳細は、健康管理センターに問い合わせるか市ホームページを確認してください



不妊治療費助成の市ホームページはこちら



不育治療費助成の市ホームページはこちら

群馬県不妊・不育専門相談センター

祝日・年末年始を除く、毎月第2・第4水曜日に相談に応じています。相談料は無料です。

時間 午後2時～4時

※相談時間は1回30分です

会場 群馬大学医学部附属病院(前橋市)

申し込み 平日の午前9時から午後4時までに電話で不妊専門相談センター(☎027-220-8425)へ

ISESAKI CITY MARATHON



伊勢崎シティマラソン

令和4年12月4日、「伊勢崎シティマラソン」が開催され、877人のランナーが参加しました。今回の大会には、ゲストランナーとして上武大学駅伝部の諏訪利成監督、招待選手として同部の皆さんも参加。伊勢崎を駆け抜けたランナーの皆さんの様子を写真で紹介します。

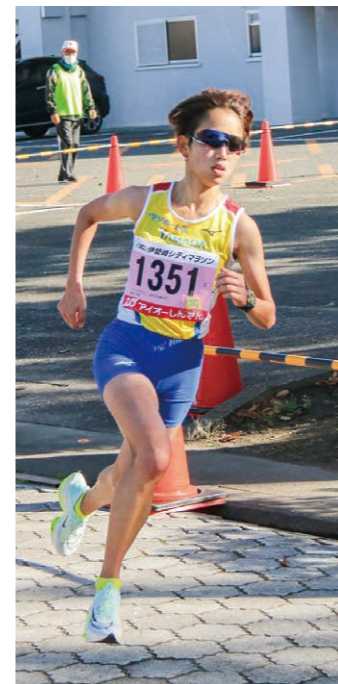
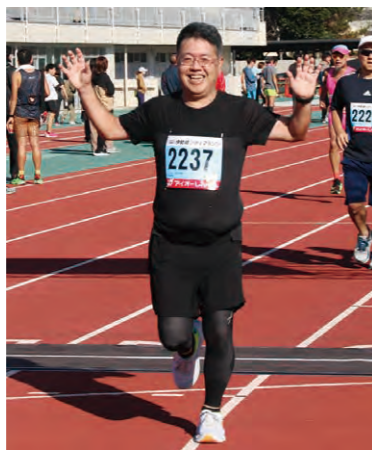
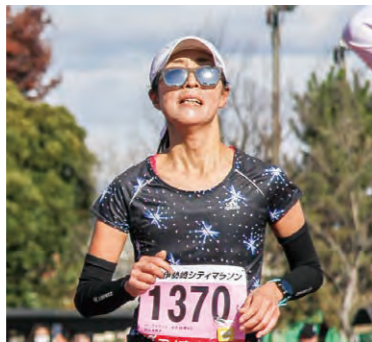
問い合わせ スポーツ振興課(☎27-2747)

フォト
ギャラリー

動画で見る
いせさき

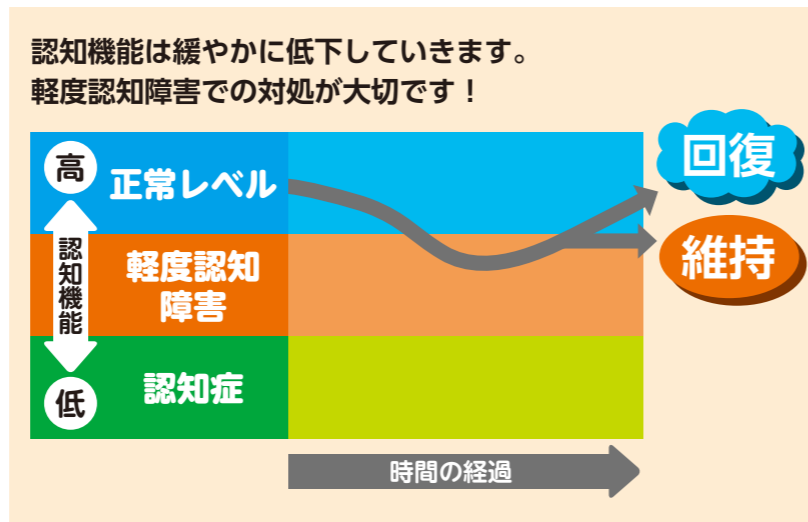


市ホームページで動画を見られます



「もしかして認知症？」と思ったときは

認知症になる一歩手前の状態のことを軽度認知障害といいます。軽度認知障害は、普段の生活に支障を来すほどではありませんが、記憶力が低下するなど健康な状態とも認知症ともいえない状態です。軽度認知障害のうちに対処すれば、認知症への進行が遅くなり、認知機能が回復したり、維持できたりすることがあります。対処するためには、本人だけでなく家族など周りの人が、早めに物忘れなどの症状に気づくことが大切です。「認知症かもしれない」と気になる症状がある場合は、かかりつけ医などに相談しましょう。



気分が落ち込むなどの気になる症状があったら

【気分が落ち込んだときは】

コロナ禍などで外出が減り、人との交流や会話が少なくなると気分的に落ち込んでしまい、うつ傾向になる場合があります。この状態が長く続くと認知症のリスクが高まります。普段から気分転換を心掛け、散歩や買い物に出かけるようにしましょう。気分の落ち込みが長引くときは、早めに専門医を受診しましょう。

【耳が聞こえにくいと感じたら】

聴力が低下すると、会話がしづらくなることから自信をなくし、人と交流する機会が減ってしまう場合があります。人と交流する機会が減ってしまうと、認知症のリスクが高まります。普段から、テレビやラジオを大音量で視聴しないなどの聴力を守る生活を心掛け、定期的に検査を受けるなど耳の健康状態を確認しましょう。

心配事は高齢者相談センターに気軽に相談してください

高齢者相談センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、さまざまな面から総合的に支援します。認知症のことで気になることや心配なことがあれば、住んでいる地区の高齢者相談センターへ気軽に相談してください。

「認知症サポーター」として一緒に認知症の人やその家族を応援しませんか

市では、認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。皆さんも認知症サポーターになりませんか。

【認知症サポーター養成講座】

DVD上映などを交えて認知症の症状や対応などを分かりやすく説明します。

期日・会場

- 2月17日(金) = 茂呂公民館
- 3月16日(木) = 緋の郷(円形交流館)

時間 午前10時～11時30分
 対象 市内に在住または在勤・在学の人
 定員 各15人(先着順)
 申し込み 1月17日(火)午前9時から直接または電話で市役所地域包括支援センターへ



今日から始めよう！ 認知症予防

厚生労働省の推計によると、平成24年に462万人だった全国の認知症高齢者は、令和7年には約700万人となり、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になるとされています。認知症は、誰もがなる可能性のある身近な脳の病気です。認知症を予防するために、生活習慣の改善などできることから取り組みましょう。

問い合わせ 地域包括支援センター(☎27-2745)

認知症予防のポイント

バランス良く食べる

1日10品目をバランス良く、規則正しく食べましょう。栄養状態の低下は老化のスピードを加速させ、認知機能を低下させる可能性を高めます。



体を動かす

ウォーキングなどの有酸素運動は、心肺機能を高めたり、血流を良くしたりする効果があります。また筋力トレーニングには筋肉や骨を丈夫にして、転倒や骨折を未然に防ぐ効果があります。無理をせず、自分のペースで行いましょう。



禁煙をする

たばこに含まれる有害物質は、全身の血管を傷つけて動脈硬化の危険性を高めるなど、脳の神経細胞に悪影響を与えます。

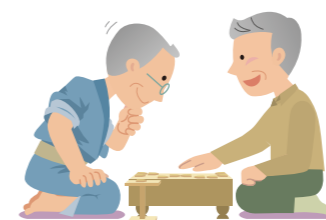


生活習慣病を予防する

高血圧や糖尿病などの生活習慣病になると、認知症のリスクが高まります。食事を取る時は塩分を控えたり、ゆっくりよくかんで食べたりすると生活習慣病を防ぎ、認知症のリスクを減らすことにつながります。

新しい趣味に挑戦する

絵画や短歌、将棋などで思考力や集中力を養ったり、自分の好きなことの中で少し難しいことに挑戦してみたりすると、脳が活性化されます。



人と交流する

人と交流すると脳が活発に働きます。人と会うことが難しいときは、電話やメール、手紙などを利用して人と交流しましょう。



情報掲示板 information

●伊勢崎市役所 ☎0270-24-5111
●赤堀支所 ☎0270-62-1151
●あずま支所 ☎0270-62-1311
●境支所 ☎0270-74-1111
開庁時間 午前8時30分～午後5時15分

■災害情報案内(24時間) ☎0180-99-2999
■救急病院等案内(24時間) ☎0270-23-1299

使用済みのプラスチック製筆記具の回収箱を設置しました

持続可能な社会の実現を目指し、市内に製造拠点を置く株式会社パイロットコーポレーションの企業活動と連携し、使用済みペンなどのプラスチック製筆記具の回収を開始しました。同社製品以外も回収できますが、テープのりなどの回収できない物もあります。詳しくは市ホームページを確認してください。

設置場所 市役所本館1階中央受付、東館1階市民ホール
問い合わせ 企業誘致課(☎27-2756)



▲市ホームページ



▲設置している回収箱

いせさき情報メールに登録を!

災害・防災情報や地域の防犯情報をメールで配信しています。携帯電話で次のアドレスに空メールを送信して登録しましょう。☒ t-isesaki@sg-m.jp
問い合わせ 安心安全課(☎27-2706)



スマホアプリ「マチイロ」で広報いせさを配信中!

スマートフォンなどでいつでもどこでも、広報いせさを読むことができます。
問い合わせ 広報課(☎27-2711)



お知らせ

伊勢崎市水道事業経営戦略(改定案)パブリックコメント
ト手続

上下水道局総務課
(☎30)1272

水道事業の経営基盤の強化を図るため、中長期的な経営の基本計画である伊勢崎市水道事業経営戦略(伊勢崎市水道事業ビジョン)(改定案)を作成しました。この案について、パブリックコメント手続を行います。皆さんの意見を聞かせてください。

意見の提出方法

所定の様式に住所・氏名・意見とその理由を記入の上、直接または郵送・ファクス・メールで上下水道局総務課に提出してください。
※資料と所定の様式は、上下水道局総務課、市民情報コーナー(市役所・各支所)にあります。市ホームページからダウンロードもできます
期間 1月5日(木)から2月3日(金)まで(必着)
対象 次のいずれかに該当する人
●市内に在住または在勤・在

●市内に事務所・事業所がある個人・法人・団体
●本市に納税義務がある人
●この改定案に利害関係がある人
宛先 〒372-0812
連取町1952 上下水道局総務課、☎(21)1101、☎i-soumu@city.isesaki.jp

教育委員会議定例会の傍聴
教育委員会総務課
(☎27)2785

●宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました
消防本部総務課(☎25)3511

●宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました
消防本部総務課(☎25)3511

●宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました
消防本部総務課(☎25)3511

●宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました
消防本部総務課(☎25)3511



▲心肺蘇生訓練用資機材を整備しました

ADL体操教室

地域包括支援センター
(☎27)2745

ADL体操は、日常生活に必要な動作能力の維持・向上と介護予防を目的とした高齢者向けの体操です。

【境地域福祉センター会場】
期日 2月1日(水)・3月1日(水)

時間 午前10時～11時30分
【緋の郷(円形交流館)会場】
期日 1月11日(水)・20日(金)・2月9日(木)・20日(月)・3月8日(水)・20日(月)

時間 午後1時30分～3時
* *
いずれも

参加料 100円(保険料など)
用意する物 上履き・飲み物・タオル

申し込み 当日直接会場へ
クラフトバンドのお雛様作り教室

あずま公民館(☎62)0115
期日 1月30日(月)

時間 午前10時～正午
会場 あずま公民館

対象 市内に在住の人
定員 12人(先着順)

内容 クラフトバンドで手のひらサイズのひな人形を作り

ます

【カフェミナージュ教室】
北公民館(☎25)4547

期日 2月9日(木)
時間 午前10時～正午

会場 北公民館
対象 市内に在住または在勤・在学の人

定員 10人(先着順)
内容 オリジナルのウエットティッシュケースを作ります

参加料 1200円(材料費)
申し込み 1月13日(金)午前9時から電話で北公民館へ

【マインドフルネス入門講座】
境公民館(☎74)5105

期日 1月21日(土)
時間 午前9時30分～11時30分

新型コロナウイルス感染症関連情報 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免

新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少などの理由で、令和3年度および4年度分の国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免を受けられる場合があります。減免の詳細は市ホームページで確認するか、各担当課にお問い合わせください。

- 申請期限** 3月31日(金)(消印有効)
※後期高齢者医療保険料は5月31日(水)(必着)
- 問い合わせ**
- 国民健康保険税=国民健康保険課(☎27-2736)
 - 後期高齢者医療保険料=年金医療課(☎27-2739)
 - 介護保険料=介護保険課(☎27-2742)

講座

【普通救命講習会】
消防本部救急課(☎25)3933
期日 2月7日(火)
時間 午前9時30分～11時30分
会場 市消防本部

(二財)自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」を活用して、心肺蘇生訓練用資機材を整備しました。この機材を用いて応急手当講習会などを行い、多くの皆さんに心肺蘇生の重要性を周知します。

【スノードームづくり】
生涯学習課(☎27)2794

期日 2月12日(日)
時間 午後1時～3時30分
会場 青少年育成センター



対象 小学生以上の人
定員 20人(先着順)

内容 オリジナルのスノードームを作ります
参加料 400円(材料費など)



【女性のための健康づくり応援講座】
南公民館(☎26)8333

期日 1月31日(火)
時間 午後1時30分～3時

会場 南公民館
対象 市内に在住の女性
定員 15人(先着順)

内容 健康的なダイエット法を学びます
参加料 無料

【まなびい先生自企画画業】
生涯学習課(☎27)2794

期日 1月28日(土)
時間 午前10時～正午

会場 赤石薬舎
対象 市内に在住または在勤・在学の人

定員 30人(先着順)
参加料 200円(資料代)

申し込み 1月18日(水)午前9時から電話で生涯学習課へ



【宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました】
消防本部救急課(☎25)3511

【宝くじの助成金で心肺蘇生訓練用資機材を整備しました】
消防本部救急課(☎25)3511

休日の漏水などの緊急連絡先

道路上から水道メーターまでの間に漏水を発見した場合は、竜宮浄水場(☎24-1760)または下記の指定工事店に連絡してください。

- 1月21日(土) 三和設備工業 ☎62-0102
- 1月22日(日) 小林保全設備 ☎24-1155
- 1月28日(土) 豊鉄水工業 ☎32-1526
- 1月29日(日) 丸橋設備 ☎25-2412

次の地域の連絡先は、以下のとおりです。

- 境島村の利根川右岸地域(本庄市給水区域)
=本庄市水道課(☎0495-22-2151)
- 境平塚の利根川右岸地域(深谷市給水区域)
=深谷市水道工務課(☎048-577-7529)

イベント参加時は感染症対策に協力を

イベントなどに参加する際は、新型コロナウイルスの感染防止対策に協力してください。新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、イベントなどを中止または延期する場合があります。最新情報は各担当課へ問い合わせてください。市ホームページでも確認できます。
問い合わせ 広報課(☎27-2711)

募集

都市計画審議会の委員を募集します

都市計画課(☎27-2766)
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために、都市計画に関する事項を審議する都市計画審議会の委員を募集します。会議は必要に応じて随時開催します。報酬は市の条例によります。
委嘱期間 4月1日(土)から令和7年3月31日(月)までの2年間
対象 市内に1年以上在住している18歳以上の人
定員 4人
申し込み 申込書に必要事項を記入の上、直接または郵送・ファクス・メールで都市計画課へ
※申込書は都市計画課、市民情報コーナー(市役所・各支所)にあります。市ホームページからダウンロードもできます
※応募の内容を基に選考し、結果は書面で応募者全員に通知します
宛先 〒372-18501 (住所不要) 市役所都市計画課、☎(23)0601、☎Tosike

環境政策課(☎27-2733)の委員を募集します

環境政策課(☎27-2733)
良好な環境の保全について審議・調査する環境審議会の委員を募集します。会議は必要に応じて随時開催します。報酬は市の条例によります。
委嘱期間 4月1日(土)から令和7年3月31日(月)までの2年間
対象 市内に1年以上在住している18歳以上の人
定員 3人
申し込み 申込書に必要事項を記入の上、直接または郵送・ファクス・メールで環境政策課へ
※申込書は環境政策課、市民情報コーナー(市役所・各支所)にあります。市ホームページからダウンロードもできます
※応募の内容を基に選考し、結果は書面で応募者全員に通知します
宛先 〒372-10824 柴町954 市役所環境政策課、☎(27)5388、☎kankyos-u-s@city.isesakijg.jp
締切日 1月31日(火)(必着)

羊毛フェルト教室

期日 1月24日(火)・31日(火)(全2回)
時間 午前9時30分～午後0時30分
会場 北公民館
対象 市内に在住または在勤・在学の人
定員 10人(先着順)
内容 羊毛フェルトでひな祭りの人形を作ります

参加料 3,000円(材料費)
申し込み・問い合わせ 1月10日(火)午前9時から電話で北公民館(☎25-4547)



教室で作る作品例

令和5年度臨時教職員などの登録者を募集

学校教育課(☎27-2788)
募集内容
①補助教職員Ⅱ小・中・中等教育学校で産前・産後休暇や育児休業などを取得する教職員(教諭・養護教諭・学校栄養職員・学校事務職員)の代わりとして勤務します
②初任者研修後補充非常勤講師Ⅱ小・中学校の新採用教諭が校内外研修などで不在のときに、非常勤講師として勤務します
③少人数指導支援非常勤講師Ⅱ小・中学校で、教科の少人数指導を担当します

④小学校イングリッシュサポートⅡ英語の授業を支援します
⑤小学校学習生活相談員・中学校教育相談員・適応指導教室指導員Ⅱ不登校などの教育相談や学習支援を行います
⑥通級教室指導員Ⅱ幼児・児童に言語・情緒などの指導と支援を行います
⑦教育支援員Ⅱ特別な支援を必要とする園児・児童・生徒に学習や生活の支援を行います
⑧外国籍児童生徒学校生活支援助手Ⅱ外国籍の児童・生徒に通訳や相談などを通して学習や学校生活の支援を行います

対象
①③④Ⅱ職種に応じた免許がある人
②Ⅱ職種の免許が必要としない人
⑤Ⅱ教員免許状がある人または英語が堪能な人
⑥Ⅱ教職経験のある人、または児童生徒に対する相談経験のある人、または教育相談に関する資格がある人
⑦Ⅱ資格が必要としない人
⑧Ⅱ資格は必要としないが、外国語が堪能で学校教育に理解のある人、特にベトナム語の通訳ができる人
申し込み 履歴書に必要事項を記入の上、①④は随時、⑤⑧は2月3日(金)までに直接学校教育課へ
※必要に応じて連絡し、面接を行います
※勤務時間や報酬、諸手当などの詳細は問い合わせてください

令和5年度公立幼稚園臨時教員などの登録者を募集
学校教育課(☎27-2788)
募集内容
①補助教員Ⅱ産前・産後休暇や育児休業などを取得する教諭の代わりとして勤務します
対象
①幼稚園教諭免許がある人
②資格は必要としない人
③幼稚園教諭免許または保育士資格がある人
申し込み 履歴書に必要事項を記入の上、直接学校教育課へ
※必要に応じて連絡し、面接を行います
※勤務時間や報酬などの詳細は問い合わせてください

電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金の申請期限は1月31日(火)です

本給付金の対象は令和4年9月30日時点で市内に住所があり、世帯全員の令和4年度分住民税均等割が非課税の世帯(非課税世帯)および生活保護世帯です。対象世帯には確認書を発送しましたので、期限内に提出してください。

また、令和4年1月以降に家計が急変して非課税世帯の収入と同等の世帯や、令和4年1月2日以降に転入者がいる非課税世帯、令和4年度住民税の未申告者がいる非課税世帯なども対象です。期限までに申請してください。

※申請方法や要件などの詳細は市ホームページを確認してください
問い合わせ 社会福祉課(☎27-2749)



市ホームページはこちら

教育委員会総務課(☎27-2785)
学校労務技士の登録者を募集します
幼稚園、小・中学校の会計年度任用職員(学校労務技士)の登録者を募集します。
勤務時間・報酬
●1日6時間・週5日勤務Ⅱ月額11万6400円
※通勤手当・期末手当などの支給があります
●1日6時間・週3日勤務Ⅱ時給900円
※通勤手当などの支給がありません

対象 学校施設の維持管理における簡単な修繕や植木の剪定ができる人
申し込み 申込書に必要事項を記入の上、直接教育委員会総務課へ
※申込書は教育委員会総務課にあります。市ホームページからダウンロードもできます
※審査後必要に応じて連絡し、面接を行います



伊勢崎オート 売上金は機械工業の振興・社会福祉の増進などに広く役立てられています
☎24-5780 🌐 <https://isesaki-auto.jp/> ★伊勢崎開催

★サントリービバレッジリノベーション・Gambo杯 GI開場46周年記念シルクカップ 1/5・6・7・8・9 ◆浜松オート場外発売 1/17・18・19

★オートレースふなばし プレゼンツ黒潮杯 1/14・15・16 ◆川口オート場外発売 1/20・21・22・23

・催し

学校給食パネル展を開催
健康給食課(☎75)2517)
毎年1月24日から30日まで、全国学校給食週間です。学校給食について広く皆さんに知ってもらうため、過去から現在までの給食をパネルやレプリカ、写真で紹介いたします。ことしの夏休みに募集したいせさき家族で「いただきます」の日 わが家のおすすり料理」入賞作品なども展示します。
期間 1月21日(土)から29日(日)まで
※月曜日は休館です
時間 午前9時～午後5時
会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター
入場料 無料

明るい選挙啓発ポスターコンクール優秀作品展
選挙課(☎27)2781)
市内の小・中学校から寄せられた明るい選挙啓発ポスターコンクール作品のうち、優秀作品30点を展示します。
※作品は市ホームページでも見ることができます
期間 1月16日(月)から20日(金)まで

・相談

ハラスメント対応特別相談窓口を開設しています
商工労働課(☎27)2755)
群馬労働局は、職場でのパワーハラスメントなどの相談に応じる「特別相談窓口」を開設しています。気軽に相談してください。
※電話での相談もできます
※匿名でも受け付けます。プライバシーは厳守します
期日 月から金曜日まで
※祝日・年末年始は除きます
時間 午前8時30分～午後5時15分
問い合わせ 群馬労働局(☎027-1896-4739)



▲過去の作品展の様子

手話の動画はこちら

手話をやってみよう!

今回の手話「あずま」
東地区の「あずま」を表現しています。
問い合わせ 障害者センター(☎75-5530)

①人差し指が上を差すように、両手の親指と人差し指を直角に伸ばします

②そのまま上に動かします

・スポーツ

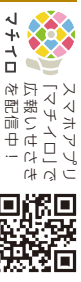
野球審判講習会
スポーツ振興課(☎27)2747)
【学科】
期日 1月28日から2月11日までの土曜日(全3回)
時間 午後6時～9時
会場 殖蓮公民館

【実技】
期日 2月12日(日)
時間 午前9時～正午
会場 伊勢崎興陽高校(上泉町)
対象 市内に在住の人

※中学生以下は除きます
※市野球協会に登録しているチームの監督・主将、少年野球の監督・コーチは参加してください

参加料 無料
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 市野球協会(☎090-4376-7465・須田)

広告のページ



Hello Oi こんにちは Bonjour 你好

みんなが活躍できる、活力ある多文化共生・共創まちづくり

みんな同じいせさき人

No.20

問い合わせ 国際課(☎27-2731)



さまざまな国の人と積極的に交流したい

あべみちお 阿部 美智夫 さん

外国の文化に触れるために市国際交流協会国際ボランティアに登録

若い頃から外国の文化に興味があり、旅行でいろいろな国へ行きました。訪れた国では、食べ物などを楽しむだけではなく、現地の人とその国の言葉を交えながら会話をすることも楽しみの一つでした。定年退職後は若い頃に比べ海外旅行に行くことが

少なくなったため、身近で外国の文化に触れられる場を探していたところ、広報いせさきで市国際交流協会国際ボランティア募集の記事を見つけ、応募してみました。

外国の文化への親しみを持つきっかけとなるイベントでの活動

市内で行われる多文化共生を推進するためのイベントに市国際交流協会国際ボランティアとして参加し、子どもたちに外国の遊びを教えながら一緒に楽しんでいます。子どもたちの喜ぶ顔が見られるのもボランティアに参加して良かったことの一つです。これまでの活動を通じて、市内には多くの外国人が住んでいて、イベントにも積極的に参加していることが分かりました。イベントで出会った外国人と交流する際に、その人の国の言葉や食べ物の話を聞くと、その国の文化に興味が湧いてきて、親しみを持つきっかけになります。これからも市国際交流協会国際ボランティアの活動に積極的に参加して、多くの外国人と交流し、さまざまな文化に触れたいと思います。



阿部 美智夫 さん

出身国 日本
プロフィール 市国際交流協会国際ボランティア以外にも傾聴ボランティアや障害福祉ボランティアなど多くの活動に励んでいる。趣味は家庭菜園で、自分で育てた野菜を使って料理をしている。ハイキング協会にも所属しており山歩きをして景観を楽しんでいる。

編集後記

新春恒例のニューイヤー駅伝が開催されます。私の新年はニューイヤー駅伝の取材から始まります。幼い頃は沿道で旗を振りながら、大人になるとこたつで寝転がりながら見ていたニューイヤー駅伝。広報課に配属となった今は、全力で集中をしてカメラ越しに選手を追いかけしています。当日、熱気とともにすすまじいスピードで駆け抜けていく選手の脇で、カメラを構えじっとしている私たちの敵は「寒さ」です。新年から体調を崩さないよう万全の防寒をして臨みたいと思います。(く)

発行 伊勢崎市 ☎0270-24-5111 FAX 0270-23-9800
 〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地 URL https://www.city.iesaki.lg.jp
 編集 広報課 印刷 川島美術印刷株式会社 毎月1日・16日発行



いきいき公民館

自慢のサークル紹介

第121回 北公民館(☎25-4547)

●活動状況は？
 ▶月3回程度
 ●活動場所は？
 ▶北公民館
 ●メンバーは？
 ▶12人

サークル名 華芳の会

華芳の会は、先生指導の下漢字や実用細字、ペン字の練習を行う書道サークルです。毎月、初心者向けの課題や師範の取得に向けた課題などの練習を行っています。その他、「いせさき市民アートフェスティバル」などの地域の展示会に出展する作品づくりにも取り組んでいます。「サークルで書道をする時間が一番楽しい」と言う会員がいるほど、楽しみながらみんなで日々精進しています。